

# 2024年度 第2四半期 決算説明資料

---

2024年11月6日  
日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く



## 連結損益概要

(億円)

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,839	<b>5,845</b>	6	0.1 %
営業利益	49	<b>21</b>	▲28	▲57.6%
経常利益	58	<b>18</b>	▲40	▲69.0%
当期純利益*	▲94	<b>▲124</b>	▲30	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、グラフィック用紙の需要減少影響があるものの、家庭紙・ヘルスケアやケミカルの売上高が伸長し、前年同期比で増収。
- 営業利益は、日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)での大規模メンテナンス実施が影響し、前年同期比で減益。
- 特別損益は、Opal社の事業構造改善費用や白老、八代工場の停止予定設備に関わる減損損失などを計上。

## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年 同期比	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年 同期比
紙・板紙	2,864	<b>2,831</b>	▲33	39	<b>35</b>	▲4
生活関連	2,185	<b>2,247</b>	62	▲50	<b>▲91</b>	▲41
エネルギー	283	<b>248</b>	▲35	2	<b>17</b>	15
木材・建材・ 土木建設関連	362	<b>377</b>	15	52	<b>40</b>	▲12
その他	145	<b>142</b>	▲3	6	<b>20</b>	14
合計	5,839	<b>5,845</b>	6	49	<b>21</b>	▲28

## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	<b>19</b>	<b>▲17</b>	—	36	—
原燃料価格	<b>▲2</b>	3	チップ ▲23、古紙 ▲26、パルプ ▲2、 重油 ▲5、石炭 68、LNG 1、薬品他 ▲10 (価格影響 49、為替影響 ▲46)	<b>▲5</b>	パルプ ▲4、石炭 2、 薬品他 ▲3
コストダウン等	<b>▲13</b>	<b>▲10</b>	原価改善21、労務費▲9、物流費▲22	<b>▲3</b>	—
その他	<b>▲49</b>	20	海外事業 18、減価償却 8、退職給付費用 20、 受払影響ほか ▲26	<b>▲69</b>	海外事業▲69、減価償却▲5、 受払影響ほか 5
合計	<b>▲45</b>	<b>▲4</b>	国内 ▲22、海外 18	<b>▲41</b>	国内 28、海外 ▲69
その他事業	<b>17</b>	エネルギー 15、木建土 ▲12、その他 14			
営業利益	<b>▲28</b>				
営業外損益	<b>▲12</b>	金融収支 8、持分法投資損益 32、為替差額▲56、その他 4			
経常利益	<b>▲40</b>				



## 紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比
2,864	<b>2,831</b>	▲33	39	<b>35</b>	▲4

- 国内
  - ・ 洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
  - ・ 石炭等燃料価格が安定したことや原価改善発現効果あるも、労務費・物流費のコストアップにより、前年同期比で減益。
  
- 海外
  - ・ 十條サーマル(JTOy)は、欧州市場での感熱紙需要の低迷が続くが、前年同期比では販売数量が回復し増益。



## 生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益			
	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年 同期比	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年 同期比	
国内	1,036	<b>1,103</b>	67	30	<b>58</b>	28	パッケージ 7、ケミカル 17 家庭紙・ヘルスケア 4
海外	1,149	<b>1,144</b>	▲5	▲80	<b>▲149</b>	▲69	Opal ▲8、NDP ▲61、TSP 0
合計	2,185	<b>2,247</b>	62	▲50	<b>▲91</b>	▲41	

- 国内
  - ・溶解パルプ(DP)や、機能性コーティング樹脂、トイレットロールなどの販売数量は増加。
  - ・ティッシュや液体用紙容器などの販売数量は減少。
  - ・製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
  - ・Opalは、人員削減を計画通り実行。一方でメアリーバール工場で最適操業条件の確立に時間を要したほか、アジア向け輸出原紙市況も引き続き低迷。
  - ・NDPは、大規模メンテナンスの実施により、前年同期比で減益。



## エネルギー事業

(億円)

2023年度 上期実績	売上高		2023年度 上期実績	営業利益	
	2024年度 上期実績	前年 同期比		2024年度 上期実績	前年 同期比
283	<b>248</b>	▲35	2	<b>17</b>	15

・石炭価格の下落に伴う販売電力価格の低下によって前年同期比で減収となった。

## 木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

2023年度 上期実績	売上高		2023年度 上期実績	営業利益	
	2024年度 上期実績	前年 同期比		2024年度 上期実績	前年 同期比
362	<b>377</b>	15	52	<b>40</b>	▲12

・新設住宅着工戸数が減少したものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収となった。

## 連結貸借対照表

	2024年3月末	2024年9月末	(億円) 前期末増減
資産の部合計	17,312	17,391	79
現預金	1,648	1,664	16
棚卸資産	2,248	2,297	49
その他流動資産	2,489	2,368	▲ 121
有形・無形固定資産	8,279	8,392	113
投資その他の資産	2,647	2,668	21
負債の部合計	12,355	12,352	▲ 3
有利子負債	8,883	9,087	204
その他負債	3,472	3,265	▲ 207
純資産の部合計	4,956	5,038	82
うち株主資本	3,264	3,140	▲ 124
負債および純資産合計	17,312	17,391	79
純有利子負債	7,235	7,423	188
調整後ネットD/Eレシオ *	1.95	2.07	0.12

\* 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債: ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額(調達額の50%)



## 連結損益概要

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,673	<b>12,000</b>	327	2.8%
営業利益	173	<b>230</b>	57	33.2%
経常利益	146	<b>190</b>	44	30.6%
当期純利益*	227	<b>30</b>	▲197	▲86.8%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

■2024年度の業績予想は、2024年5月15日に公表した内容から変更ありません。

■ただし、営業利益のセグメント別内訳は、上期の動向を勘案し、予想を見直し。



## セグメント別概要

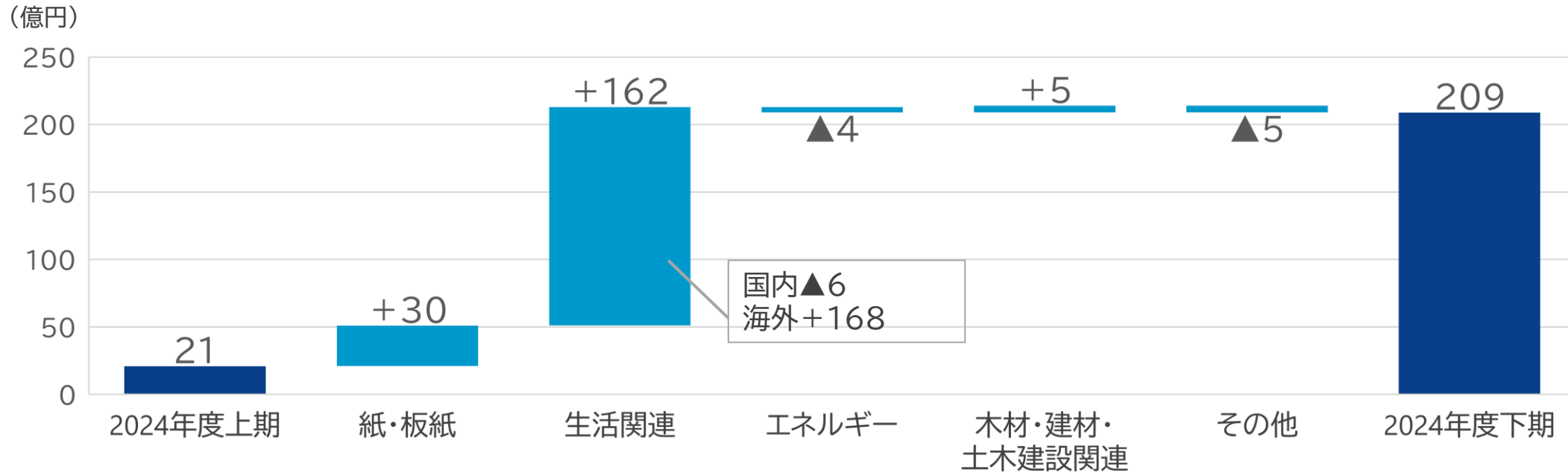
(億円)

	売上高			営業利益				
	2023年度 実績	2024年度 予想	前年 同期比	2023年度 実績	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	2024年度 年度予想	前年 同期比
紙・板紙	5,702	<b>5,650</b>	▲52	117	35	<b>65</b>	<b>100</b>	▲17
生活関連	4,368	<b>4,800</b>	432	▲81	▲91	<b>71</b>	<b>▲20</b>	61
エネルギー	537	<b>500</b>	▲37	16	17	<b>13</b>	<b>30</b>	14
木建土*	755	<b>750</b>	▲5	98	40	<b>45</b>	<b>85</b>	▲13
その他	311	<b>300</b>	▲11	23	20	<b>15</b>	<b>35</b>	12
合計	11,673	<b>12,000</b>	327	173	21	<b>209</b>	<b>230</b>	57

\* 木材・建材・土木建設関連事業



## 増減要因内訳(2024年度下期見込 対 2024年度上期実績)



### ■ 紙・板紙事業

- 例年通り、上期は多くの工場での休転を実施。下期は修繕費など固定費の負担が軽減。

### ■ 生活関連事業(国内)

- 家庭紙・ヘルスケアや液体用紙容器の季節性による販売数量の増減を勘案し、若干の利益減少を見込む。

### ■ 生活関連事業(海外)

- Opalは、メアリーバール工場の構造改革推進とパッケージ事業の収益改善により対上期で赤字圧縮。
- NDPは、上期に実施した大規模メンテナンスに伴う修繕費が発生しないことや、販売数量の増加により、対上期で100億円強の改善を見込む。

## 主要な前提条件

### ■国内販売数量(対前年)

	下期	通期
新聞用紙	▲8%	▲9%
印刷用紙	▲3%	▲7%
情報用紙	▲4%	▲4%
段原紙	1%	▲1%

### ■主要原材料価格、為替

	下期
為替(米ドル)	155円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+7億円/年
石炭	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:145.95ドル/t)
原油	85ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案



## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	84	▲13	—	97	—
原燃料価格	▲103	▲62	チップ ▲50、古紙 ▲64、パルプ ▲8、 重油 ▲13、石炭 101、LNG ▲1、薬品他 ▲27 (価格影響 15、為替影響 ▲77)	▲41	パルプ ▲15、石炭 2 薬品他 ▲28
コストダウン等	2	13	原価改善 76、労務費 ▲21、物流費 ▲42	▲11	—
その他	61	45	海外事業 19、減価償却 16、退職給付費用 41、 受払影響ほか ▲31	16	海外事業 24、減価償却 ▲8、 受払影響ほか 0
合計	44	▲17	国内 ▲36、海外 19	61	国内 37、海外 24
その他事業	13	エネルギー 14、木建土 ▲13、その他 12			
営業利益	57	国内：パッケージ 6、ケミカル 27、 家庭紙・ヘルスケア 4 海外：Opal 38、NDP ▲14、TSP 0			

---

# 参考資料

---

日本製紙株式会社



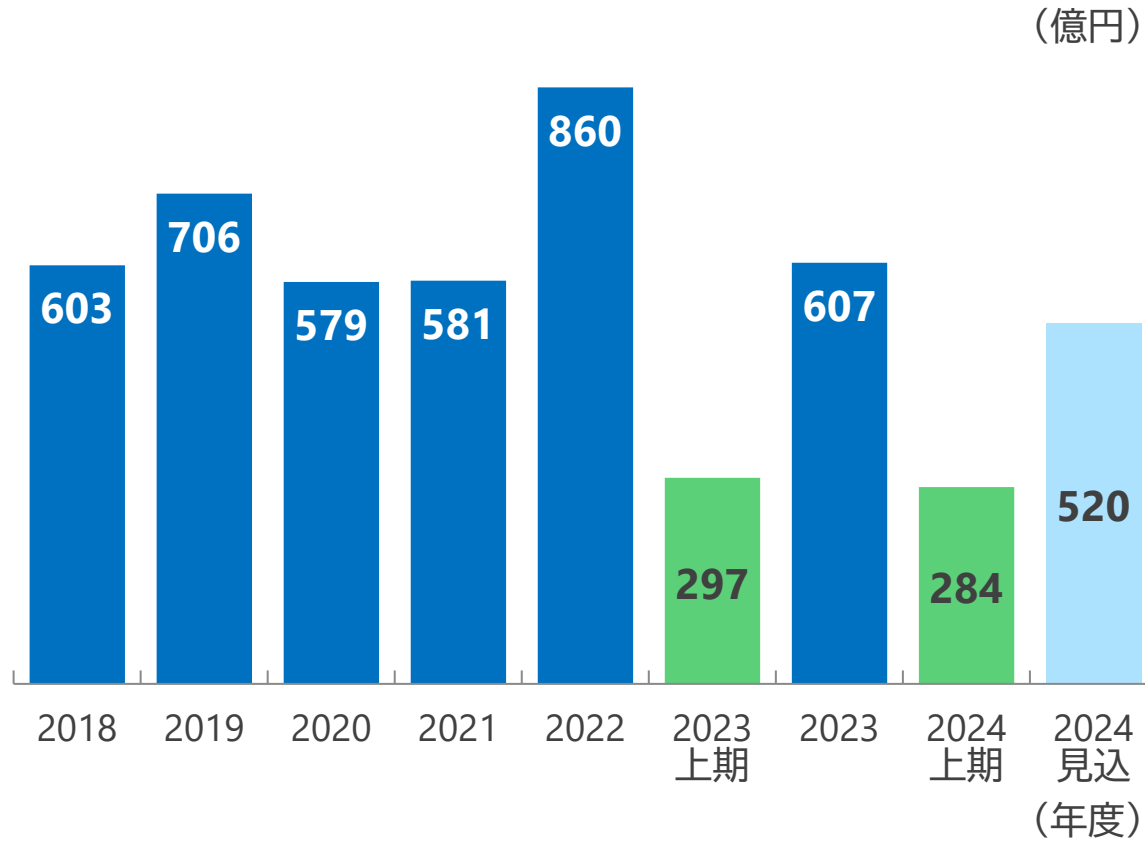
木とともに未来を拓く

	(千t)		
	2023年度 上期	2024年度 上期	対2023
新聞用紙	270	245	▲9.5%
印刷用紙	471	420	▲10.8%
情報用紙	188	180	▲4.0%
その他	144	149	3.2%
国内	1,074	994	▲7.4%
輸出	79	107	34.9%
<b>洋紙 合計</b>	<b>1,153</b>	<b>1,101</b>	<b>▲4.5%</b>
段ボール原紙	786	769	▲2.2%
紙器用板紙他	159	155	▲2.4%
国内	945	924	▲2.2%
輸出	57	63	10.3%
<b>板紙 合計</b>	<b>1,003</b>	<b>988</b>	<b>▲1.5%</b>
<b>洋紙・板紙 合計</b>	<b>2,156</b>	<b>2,089</b>	<b>▲3.1%</b>

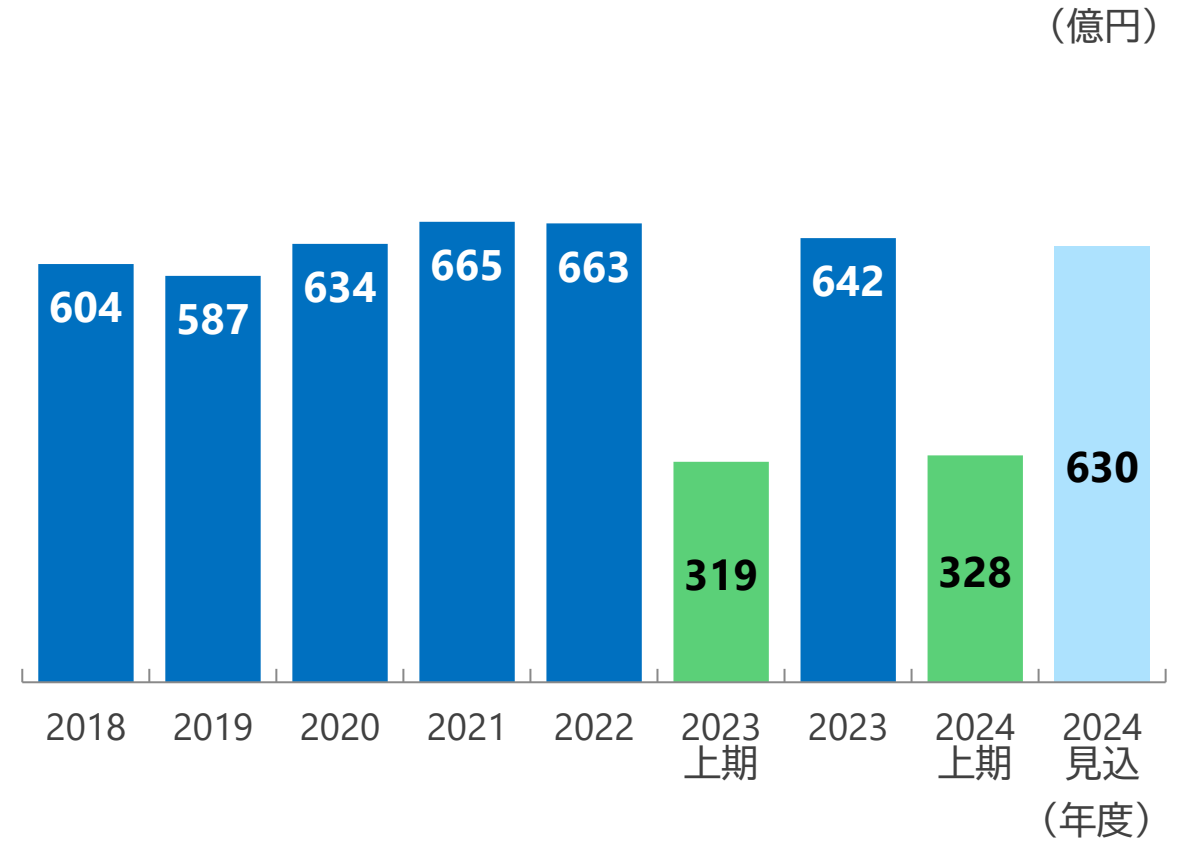
\*日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)



## 設備投資額\*



## 減価償却費



\*建仮計上ベース



# セグメント別 売上高推移



(億円)

	2023年度				2024年度		2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	1,433	1,431	1,442	1,396	1,419	1,412	2,831	2,819
生活関連	1,068	1,117	1,100	1,083	1,083	1,164	2,247	2,553
エネルギー	137	146	109	145	115	133	248	252
木材・建材・ 土木建設関連	167	195	176	217	184	193	377	373
その他	69	76	79	87	69	73	142	158
合計	2,874	2,965	2,906	2,928	2,870	2,975	5,845	6,155

# セグメント別 営業利益推移



(億円)

	2023年度				2024年度		2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期実績	下期予想
紙・板紙	2	37	42	36	24	11	35	65
生活関連	▲23	▲27	▲10	▲21	▲20	▲71	▲91	71
エネルギー	5	▲3	▲5	19	5	12	17	13
木材・建材・ 土木建設関連	23	29	15	31	22	18	40	45
その他	1	5	2	15	10	10	20	15
合計	8	41	44	80	41	▲20	21	209

## 紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2024年度上期)

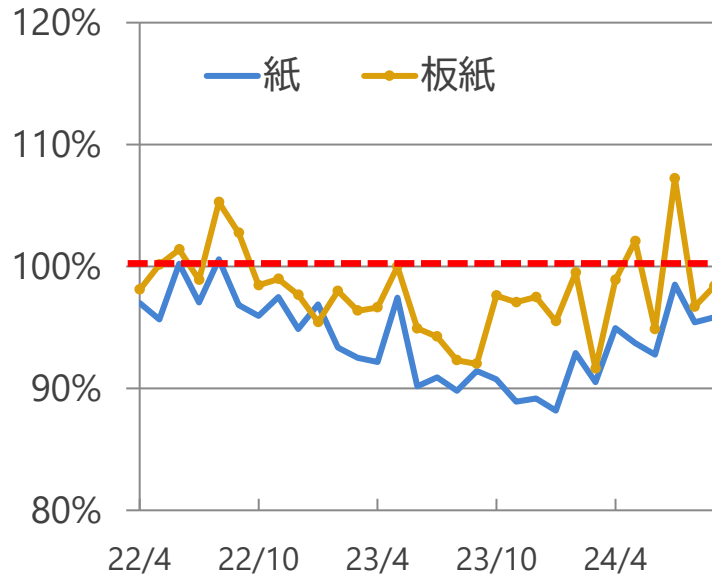
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2023	数量	対2023	数量	対2023
新聞用紙	748	▲9.5%	0	—	0	▲100.0%
印刷・情報用紙	2,277	▲7.2%	316	50.3%	259	▲1.6%
塗工印刷用紙※	1,189	▲9.2%	235	46.8%	46	▲20.0%
非塗工印刷用紙	621	▲3.7%	54	38.0%	7	28.5%
情報用紙	468	▲6.4%	27	145.2%	206	2.8%
その他	1,484	2.1%	139	22.4%	21	3.7%
<b>紙 合計</b>	<b>4,509</b>	<b>▲4.8%</b>	<b>455</b>	<b>40.5%</b>	<b>280</b>	<b>▲1.5%</b>
段ボール原紙	4,324	▲0.7%	388	11.0%	13	19.9%
紙器用板紙他	999	1.5%	24	20.6%	113	5.0%
<b>板紙 合計</b>	<b>5,323</b>	<b>▲0.3%</b>	<b>412</b>	<b>11.5%</b>	<b>126</b>	<b>6.3%</b>
<b>紙・板紙合計</b>	<b>9,833</b>	<b>▲2.4%</b>	<b>867</b>	<b>25.0%</b>	<b>406</b>	<b>0.8%</b>

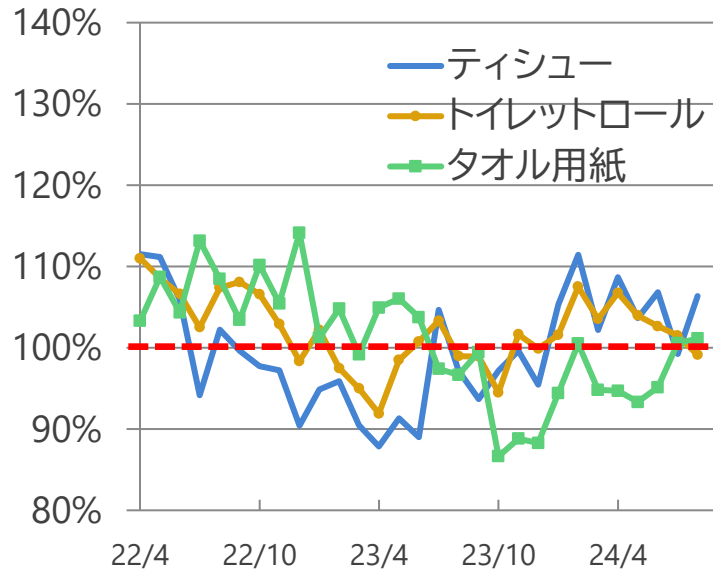
※塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

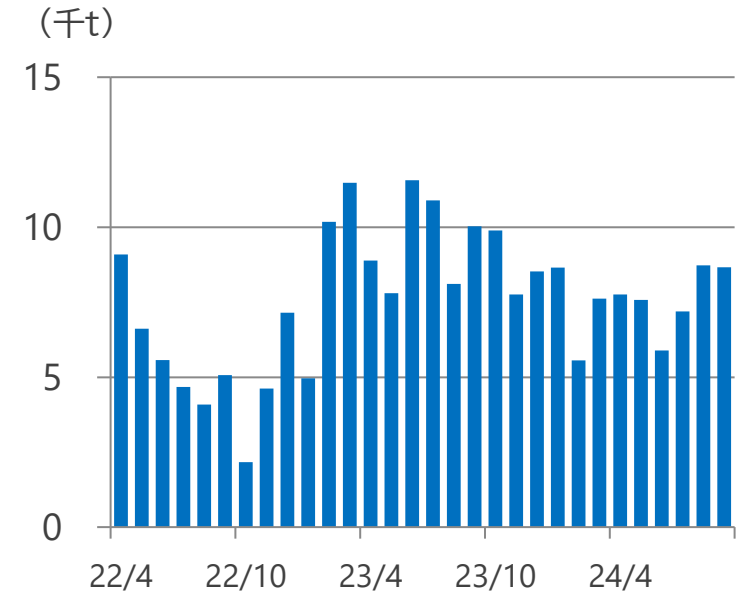
## メーカー国内出荷量(対前年)



## 衛生用紙生産高(対前年)

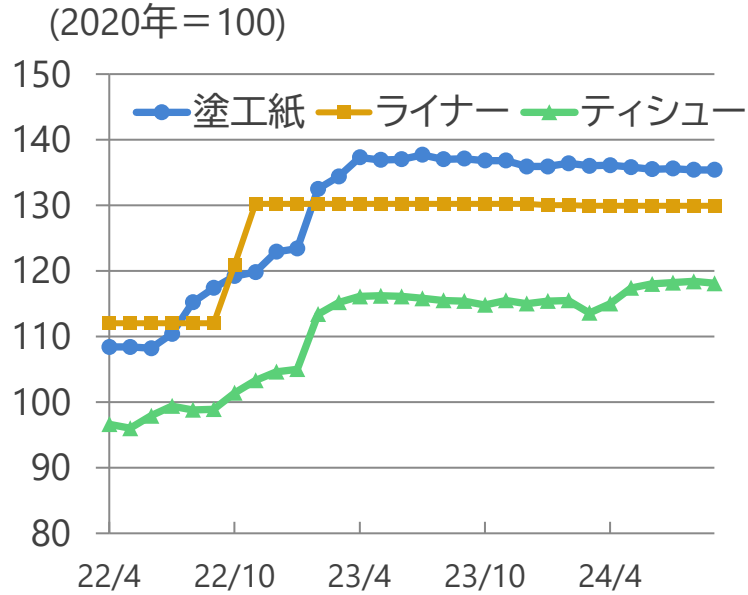


## 塗工紙輸入推移

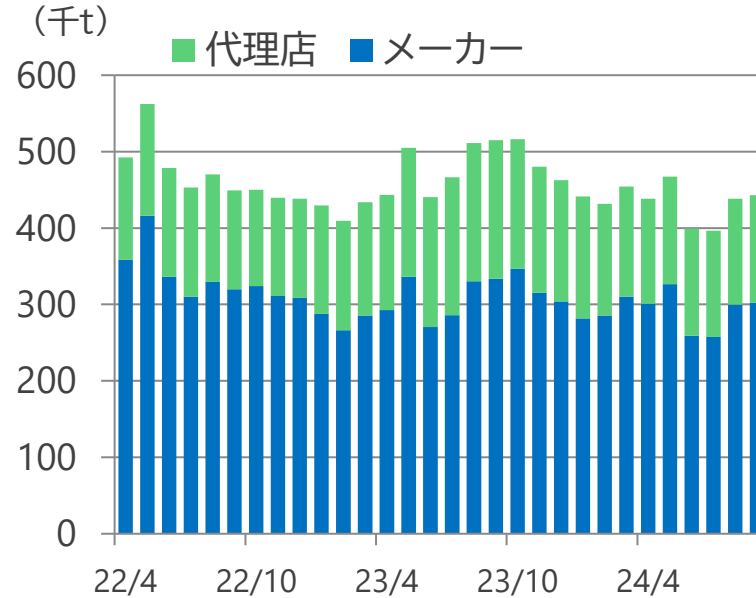


出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

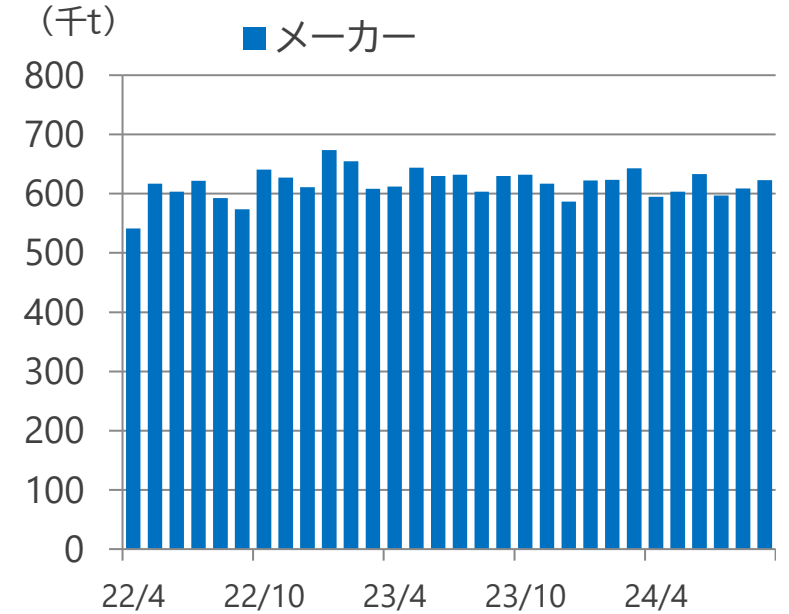
## 品種別価格動向



## 塗工紙在庫高推移



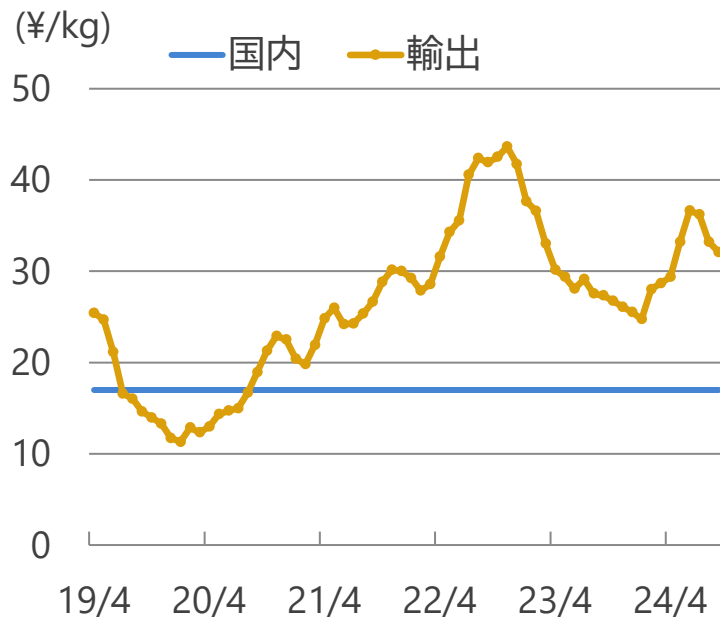
## 段原紙在庫高推移



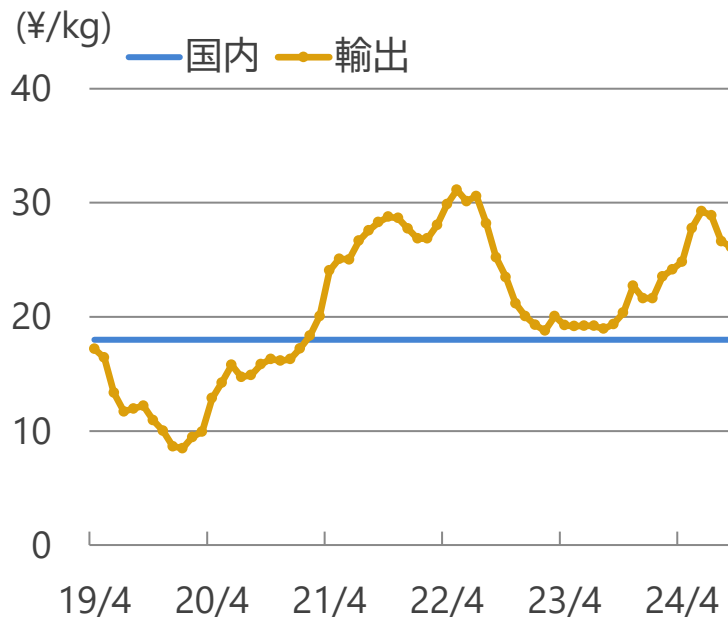
出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」



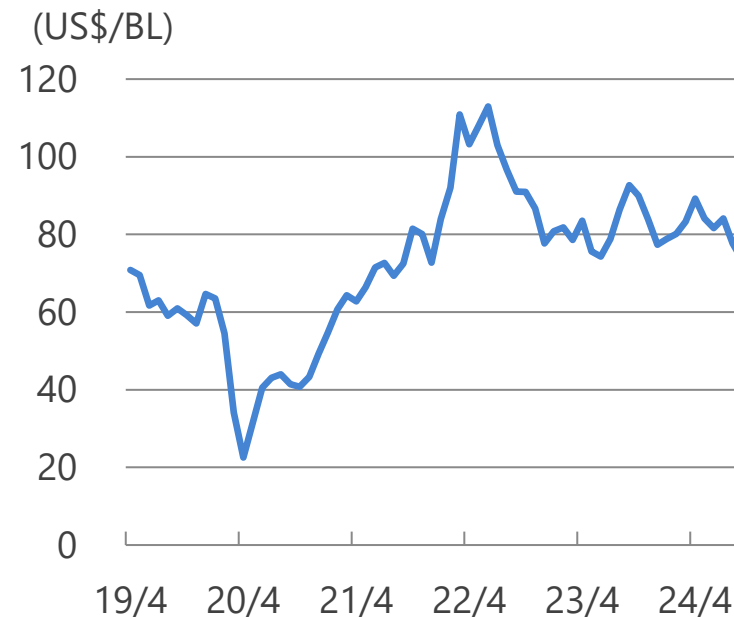
## 新聞古紙



## 段ボール古紙



## 原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞



# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社